

リーフチェックに向け元気に出発!

の当 日 魚類 報 話 の明 で行 出け、 椎生 合う エ う様子の . .. 発 とない わ

りほ

行浅物 ・れは わ場

にかい、同日行

町民の方も参り会には、参加ダ

加さ

加ダ

バエ ツ

日行

わ

れたリ

げている可能性もある。海藻での被覆度が高くなっており、においても、海藻類の底質へのがある。また、今回の調査 そあゴん りである。 海洋研究の 礁は緩やかな回復短い講評では、与論自 他の のスピ 地域と比べると、 な変動 傾向に はゆ 0 サ つく ŧ

### がつ解 が調

付ちで参加していた「はじめのうちは、行われました。

ムごとに

ち合

いて

明の

のは、説

チ

エ

た

た様子で、

翌 日

 $\mathcal{O}$ 

なさんも、

次第に

Rに打ちて 緊張の

### ヨロンの海 サンゴ礁再生協議会設立

協議会は、与論町の各種団体によ り組織され、与論島周辺海域のサン ゴ礁の生態系を将来にわたって引き 継いでいくことを目的とし、関係機 関と連携のうえ、様々な環境保全活 動を行っていきます。

6月22日に開催された会議では、 実働部隊としての「海」「農業」「生活」 の3つのワーキングチームが作られ ました。

今後、このワーキングチームごと に、サンゴ礁の再生に向けた活動が 行われていきます。

なさまの、環境保全への理解と働き かけが必要不可欠です。協議会活動 への、町民のみなさまのご理解とご 協力をお願いいたします。

# -ンナップ

陸上から をしなが の海洋温 環か

境への影響を調べます。 今回のビーチクリー 今回のビーチクリー 時間ほどごみ 一般の方など35名が一部のメンバーのほか与論高校の野球部・ ぱ 11  $\mathcal{O}$ 

やプラスチック片、ペったごみは、発泡ス 物が多く見られまし

渡辺

与論島の海を守るには、町民のみ

ざいま たみなさま 参 たチ

なればと思います のサ このよう ンゴ礁再 な活動 生へ のが 与論島 歩に

平成22年 おまちしております ます みなさまのご参加を 10月30日を予定して 与論島の海につ

電話:0997-97 ヨロン島観光協会 http://www.yorontou.info/ ムページ:

て考えてみましょう! 次回の ソーフチェックに関 IJ エ わ関せす ツ とうご は、

ーフチェック活動の経緯

生活に大きな恩恵を与えて ボランテ る 影響を与える原因など フチ て調査をすることを ンゴ礁の健康状態や ツク 私 たち

囲ま

そのためにどの価値を知 ために必要な環境保全活性を知り保護すること、 から、 分かりやす 参加するダイ す

動などを社会的にアピ しみながら実施すると ることを目的としています。 です

## どんなことをするの?

力を借りて

この活動により、 ンゴ

滅してしま 害を与え、

いました。 多くのサ

そこでサンゴ礁再生の

取

2

0

0

1)

に発生したサ

ンゴの

1の白化現象

与論島の

海に

· ンゴが

れる海」

埋め尽く

フの

中 礁に

ゴ

9 9 8

事業者と島内外

が集まり、

島内のボラー

F. 年

ン

ハンティ

クとビーチクリーンナップの活動についてご紹介します。チェックを行っています。ここでは、6月19日に行われたリーフチェッダイビング事業者と島内外のボランティアダイバーが集まり、 リーフ リーフ

2000年より毎年2回、

サンゴ礁再生の取り組みとして、

みんなで与論島の海洋環境を考えよう

フザュック



ひとつずつ、確認しながら調査をします。

### 門が一調が れます チ

ほは

か

-ムに加わ がに、海洋で ボランテ

て究の

専

つ研

わ

ウニやエビなどの生物のゴの様子を確認したり、トルのラインに沿って、 0

たり、

種 魚

類やン

て、

サ

0

イバーとインストラクター、島内外からのボランティアダーのリーフチェックには、

フチェック活動報告

海洋研究の専門家を含めて29